

東京都計画都市高速鉄道事業
西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）
（中野区上高田五丁目
～同区野方四丁目）

令和2年8月21日（金）

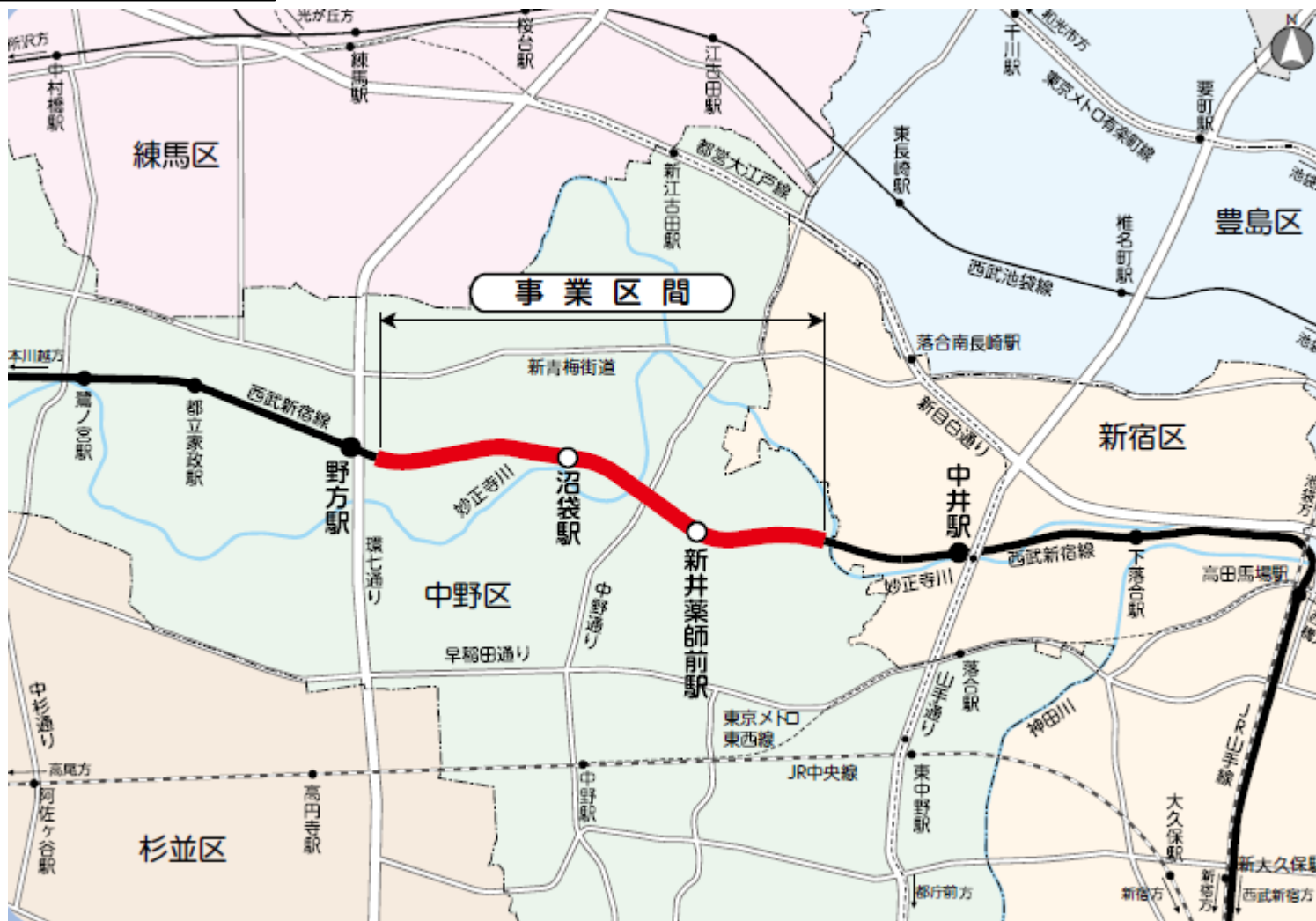
建設局 道路建設部

目次

1. 事業概要	1
2. 社会経済情勢等の変化	5
3. 事業の投資効果	6
4. 事業の進捗状況	10
5. 事業の進捗の見込み	15
6. コスト縮減等	16
7. 対応方針(原案)	17

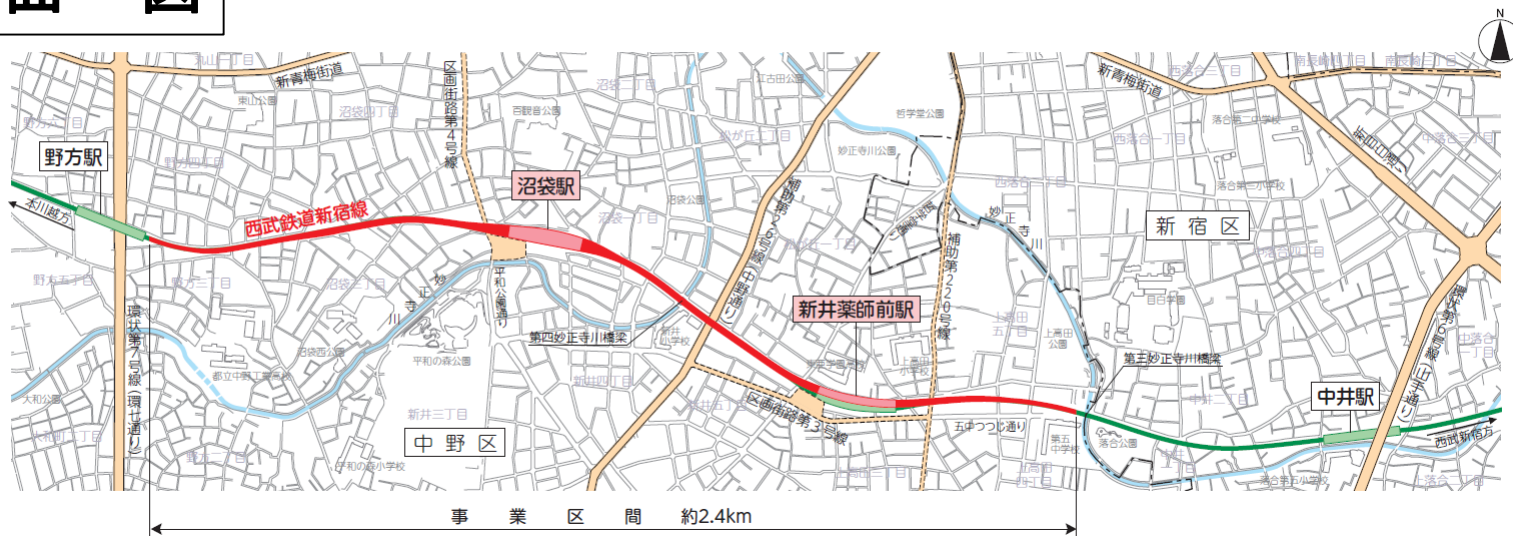
1. 事業概要

位置図

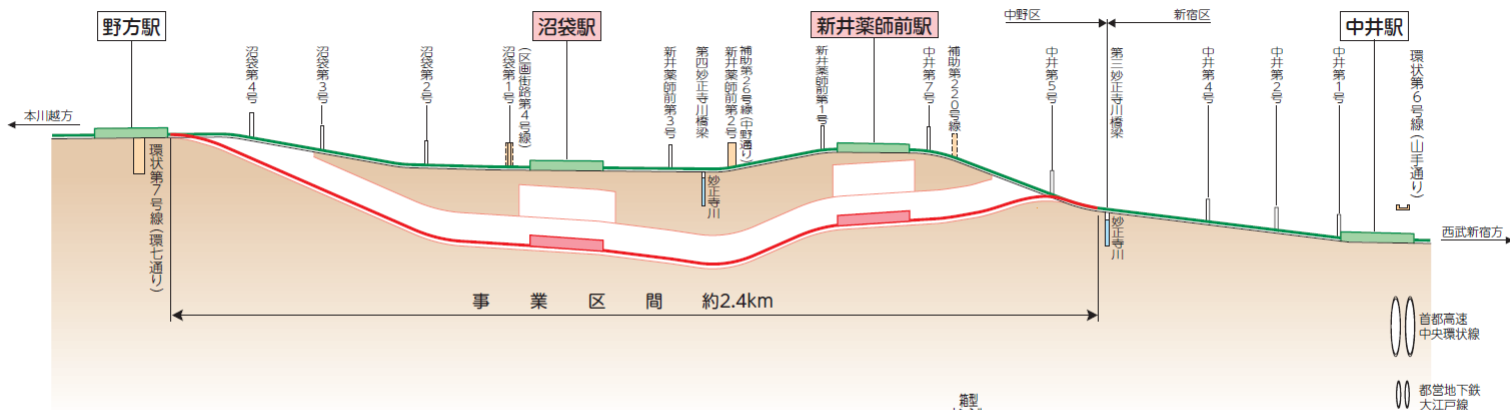


1. 事業概要

平面図



縦断図



構造形式	地表	掘削	箱型トンネル	円形トンネル	箱型トンネル	円形トンネル	箱型トンネル	円形トンネル	掘削	地表
施工方法	地表	掘削	シールド	掘削	シールド	掘削	シールド	掘削	地表	地表

凡例	■ 鉄道(現況)	■ 鉄道(計画)	--- 都市計画道路(計画)
	■ 都市計画道路 <td>--- 河川 <td>--- 区境 </td></td>	--- 河川 <td>--- 区境 </td>	--- 区境

1. 事業概要

事業期間

平成25年度～令和8年度

事業の概要

本事業は、西武鉄道新宿線の中井駅～野方駅付近の約2.4kmにおいて鉄道を地下化することにより、7箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。

1. 事業概要

経緯

年度	計画等
平成23年8月	都市計画変更
平成25年4月	都市計画事業認可(当初) 平成25年度～平成32年度
令和2年4月	事業認可変更(最新) 平成25年度～令和8年度

2. 社会経済情勢等の変化

関連計画の変化

■関連計画

- ・都市づくりのグランドデザイン(平成29年9月)
- ・「未来の東京」戦略ビジョン(令和元年12月)

関連する他事業等の進捗状況の変化

■都市計画道路の事業認可取得

- ・東京都市計画道路区画街路中野区画街路第3号線
(事業認可平成29年2月13日取得)
- ・東京都市計画道路区画街路中野区画街路第4号線
(事業認可平成29年8月9日取得)
- ・東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第220号線
(事業認可平成27年12月8日取得)

3. 事業の投資効果

便 益 算 定
フ ロ ー 図

■費用および便益算定の前提
基準年次 : 令和2年度
供用年次 : 令和8年度
検討年数 : 供用後50年間
社会的割引率 : 4%

■便益の算定

- 移動時間短縮便益 (自動車)
- 移動時間短縮便益 (歩行者・自転車)
- 走行経費減少便益
- 交通事故減少便益

■費用の算定

- 連続立体交差事業 (都市側負担のみ)
- 関連道路整備費
- 道路維持管理

■現在価値の算定

便益の現在価値 (B) 費用の現在価値 (C)

社会的割引率

費用便益分析の実施 (B/C)

3. 事業の投資効果

定量的効果

【事業全体】

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B / C)
	646.7億円	50.4億円	23.7億円	720.8億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	1.2
	615.3億円		0.3億円	615.6億円	

注1) 便益・費用については、基準年度における現在価値化後の値である。

注2) 費用及び便益額は整数止めとする。

注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

3. 事業の投資効果

定性的効果

<交通>

- ・交通渋滞の解消
- ・物資流通円滑化への寄与
- ・バスの定時性
- ・迂回交通の減少

<防災>

- ・緊急車両の走行
- ・災害時の避難路の確保

<くらし>

- ・土地利用の転換・高度化
- ・商業・産業の活性化
- ・公共施設へのアクセス向上

<安全>

- ・交通事故の減少
- ・バリアフリー化
- ・自転車や歩行者のための空間確保

3. 事業の投資効果

定性的効果

＜交通＞交通渋滞の解消、バスの定時性

＜安全＞交通事故の減少

踏切の除却により、交通渋滞や踏切事故の解消が見込まれる。



新井薬師前駅周辺(新井薬師前第1号踏切)の状況



中野通り(新井薬師前第2号踏切)の状況

4. 事業の進捗状況

(令和元年度末時点)

事業費の執行状況

	用地費	工事費	合計
全体事業費	8,651百万円	65,056百万円	73,707百万円
執行済額	7,609百万円	25,777百万円	33,386百万円
(執行率)	88.0%	39.6%	45.3%

用地取得状況

取得予定面積(A)	既取得面積(B)	用地取得率(B/A)
5,363m ²	4,809m ²	89.7%

4. 事業の進捗状況

事業費・工期変更の要因

- 用地取得の遅れにより、事業認可変更を実施。
地価上昇等により、用地費を約1,100百万円増額
事業期間を令和9年3月まで延伸
- 用地費は鉄道側100%負担のため、都市側負担の増加はない。

4. 事業の進捗状況

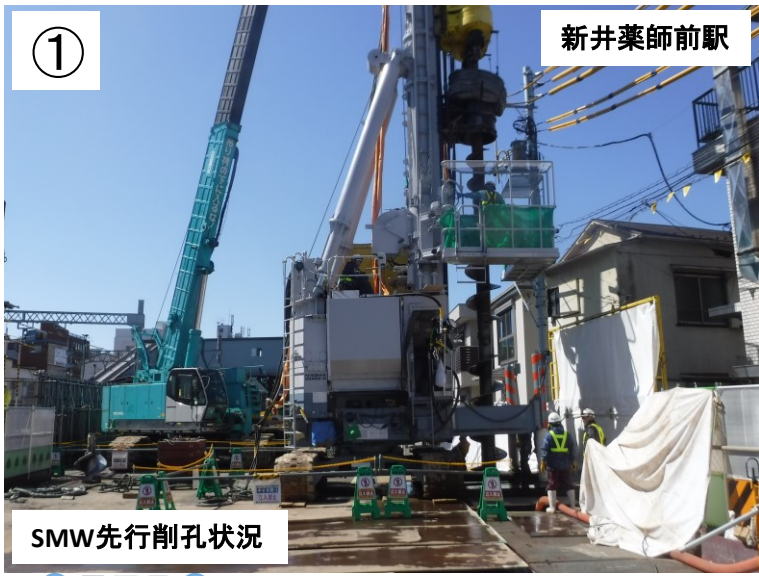
事業の進捗状況・残事業の内容

- 未取得用地の早期取得を目指し、引続き取組んでいく。
- 起点側・終点側の両端部及び駅部の開削区間において、土留壁工等を行っている。今後は、駅部の躯体構築やシールド工事などを行う。

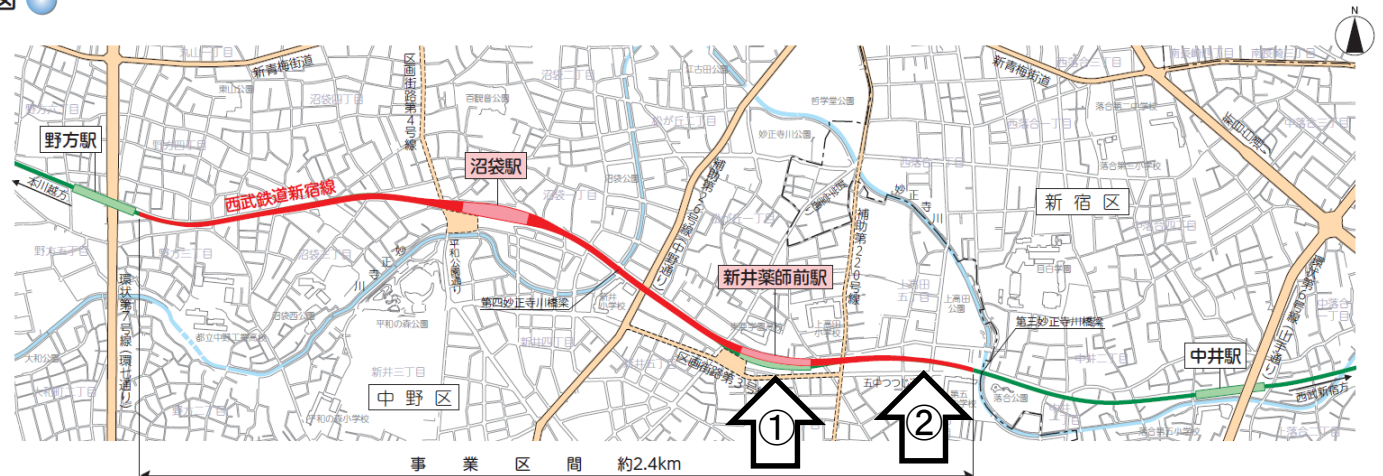
4. 事業の進捗状況

事業の進捗状況・残事業の内容

<工事状況>



● 平面図 ●



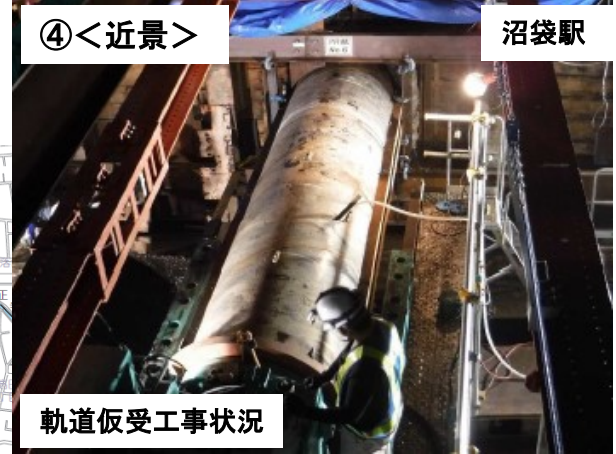
4. 事業の進捗状況

事業の進捗状況・残事業の内容

<工事状況>



● 平面図 ●



5. 事業の進捗の見込み

- 新井薬師前駅については、今年度から掘削を開始する。
- 沼袋駅については、躯体構築に支障となる沼袋変電所の移設工事に今年度から着手する。

6. コスト縮減等

代替案立案の可能性

- 本事業を事業化するにあたり、鉄道の立体化を高架式、地下式等によって行う場合や、道路を単独で立体化する場合など、複数案で比較検討を行った結果、現在の構造形式・事業手法となっているため、代替案の可能性はない。

コスト削減の取組

- 今後の地下化工事にあたって、コスト削減の可能性を検討していく。

7. 対応方針(原案)

総合評価

- 踏切の除却により、交通渋滞や踏切事故の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るためには必要不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要がある。

対応方針案

- 継続